

広報



あさひ

No. 236

昭和50年
4月10日発行



今月のおもな記事

- ・昭和50年度予算案きまる
- ・昭和50年度予算案の説明
- ・全国町村議会議長表彰
- ・議会だより
- ・標準小作料の改正
- ・農作業賃金の決定
- ・サケの稚魚放流
- ・富山県米作改良選賞表彰
- ・奨学生募集
- ・役場職員、教職員人事異動
- ・体協だより
- ・連青だより
- ・草野地内分譲宅地造成はじまる
- ・消防署だより(山火事防止)
- ・朝日町20年のうつりかわりの特集を終えて

朝日町風土記

「奈須の与一はこの国の人
四国 サ ナンジャイナ 屋島の
四国 屋島の壇の浦
扇の要を射落した
サ ヨイヤ サ ナンジャイナ」
の地唄で舞う扇舞は、袖口には錦房
をつけ、紫の振袖紋付着物の道中姿、
ボタンの花笠をかぶって舞われる。
宮崎の稚児舞は古く平安末期(八〇
〇〇年前)に源をもち、中世末期(四
〇〇年前)に完成されたものと考え
られているが、舞にともなう地唄は
近世化、ザレ唄化して断片的になっ
ている。
しかし神を迎えて村内の家々を順々
に廻り悪霊を村外れで追い払う形式
や家々の庭先に入りこんでの稚児舞
や悪霊を拍子木の音によって追い払
う形式など信仰的な意味に使われた
拍子木だけの伴奏は古い舞の伝承が
うかがわれる。
(写真は女兒の扇舞)

遠い祖先の心を伝える
習俗風俗

稚児舞 槍おどり、扇舞

●宮崎●

社会福祉の充実と

生涯教育の振興をめざして

●昭和五十年年度予算案さきまる●

昭和五十年年度予算は「生活環境の整備」、「教育条件の整備」、「産業基盤の整備」の三政策に、新しく「郷土の保全」を加えた四本の柱を立て、厳しい社会状況の中で、適確に現状を認識し、将来の見通しに立った基本施策を推し進めていくもので、一般、特別、企業会計合わせて三十二億五十四万円でスタートいたします。

一般会計予算

十八億二百一十一万円

国民健康保険特別会計予算

四億六百四十八万円

国民健康保険診療施設特別会計予算

（笹川、宮崎、境診療所）

三千七十七万円

簡易水道特別会計予算

九百七十七万円

用水特別会計予算

二百四十六万円

病院事業会計予算

九億四千九百六十三万円

一般会計

歳入については、各費目別に、歳出については、四つの基本施策別に主なものをお知らせいたします。

歳入

町税

全体の一八・六%

町の財政の中心をなす町税は、四十九年度に比べて一三・四%の伸びを見込み、町民税一億四千七百七十七万円、固定資産税一億二千五百六十五万円、町たばこ消費税二千八百五十六万円、電気税一千五百三十一万円、軽自動車税、木材引取税、特別土地保有税、入湯税などで一千七百二〇万円に合せて三億三千四百五〇万円です。

地方譲与税、自動車取得税交付金、交通安全対策特別交付金については、道路整備、交通安全施設整備を目

地方交付税

全体の三六・二%

財政的地域格差を少なくするため、国が財源の配分を行うための地方交付税は、前年度実績等を勘案して六億五千三百万円を見込みました。

国・県支出金

全体の二九・三%

分担金および負担金については、各種事業の受益者から応益分を負担していただくもので、広域農道、林道開設事業、水産業振興事業などの分担金として六千八百五十四万円。

乳幼児保育のため負担していた保育料については、国の保育単価の値上がり等を考慮して引上げを計画し、六千一百三十七万円になります。

使用料および手数料については、福祉・体育センター、公営住宅、町営プール等の使用料は前年度同様の料金としましたが、火葬場使用料、住民基本台帳関係等手数料については、施設維持費などを折り込んで値上げを行い、使用料および手数料で一千九百四十一万円が見込まれます。

町が仕事をやっていくうえにおいて、国や県から受けます補助金、負担金等として五億二千八百八十二万円を計上しました。

このうちの主なものとして
・農業構造改善事業分一億六千四百

的として合わせて二千八百八十六万円が見込まれます。

町債

全体の四・二%

寄附金については、積極的に仕事を進めていくための財源として町道舗装寄附金二百八〇万円、消防施設整備事業二十八万円のほか育英奨学資金として一百三〇万円が計上されています。

町債については、景気抑制的基調のため、住民に直接関連する道路整備、ごみ収集車、消防自動車購入、公民館建設および町民運動場建設債などで七千五百六〇万円になります。

歳出

生活環境の整備

一、社会福祉の向上

三億七千一百七十七万円
・老人いこいの家設置

九八万円
・都市計画街路、道路特別改良事業三千万円
・林道開設事業分二千八百四十八万円
・高令者医療給付費分六千三百一十八万円
・保育所運営費分九千八百二十八万円
・町民運動場建設事業分七百五〇万円
などで歳入予算の二九・三%をしめています。

- ・敬老福祉金の増額支給
- ・老人家庭福祉員の増員と「愛のべル」設置
- ・身体障害者福祉金の増額支給
- ・身体障害者補装具費の全額助成
- ・重度身体障害者機能回復訓練器具の購入
- ・ちびっこ広場の設置

二、保健衛生の充実

- 八千一百八万円
- ・地下水水量調査、電気探査の実施
- ・成人病、結核住民検診の実施
- ・こみ収集車の購入

三、道路交通網の整備

- 一億三千四百三十九万円
- ・生活関連道路改良事業の新規施行
- ・町道改良、舗装、都市計画街路事業の実施
- ・交通安全施設の充実

四、集落の移転

- 二千四百一十七万円
- ・集落移転整備事業の実施

教育条件の整備

- 一、学校教育の整備 一億六千二百九十九万円
- ・学校事故賠償責任保険への加入
- ・教材教具の整備や自動火災報知機の設置
- 二、社会教育の充実 四千八百九十三万円
- ・地区公民館の建設、書記の新設
- ・少年教室、高令者学級などの開設
- ・視聴覚ライブラリーの開設
- 三、保健体育の向上 四千七十三万円

- ・町民総合運動場の建設
- ・スポーツ人口の増大のためのグループ育成強化

産業基盤の整備

- 一、農林水産業の振興 三億七千三百七十五万円
- ・農業構造改善事業の推進
- ・農工一体化事業、高能率生産団地整備事業の促進
- ・自立経営農家の育成強化
- ・乳用はらみ牛、優良種豚の導入
- ・林道開設事業の実施
- ・花と緑の町づくりと町花、町木の育成普及
- ・漁港の整備や漁業遭難防止対策事業の推進
- 二、商工業の振興と観光開発 二千二百六十五万円
- ・県立自然公園の整備
- ・小口事業資金あつ旋保証融資資金預託制度の導入、利子補給
- ・観光パンフレットの作成
- 三、労働関係施策の推進
- ・失業対策事業の実施

郷土の保全

- 一、消防機能の強化 五千二百四十二万円
- ・消防自動車の購入や無線機の整備
- ・救急自動車の整備や救急用機械器具の購入
- ・無線サイレン吹鳴装置の設置
- 二、町土の保全 一千三百四〇万円

- ・がけ地など危険住宅の移転事業や林地崩壊防止事業の推進
- 三、災害復旧事業の促進 三百一十九万円

その他の経費

- 一、一般行政の充実 二億六千二百五十二万円
- ・道路賠償責任保険への加入
- ・物価モニターの情報収集や不用品交換会、歳末野菜安売りの実施
- 二、広域行政の推進 四千八百五十八万円
- ・新川広域圏事業負担金やスーパー農道開設事業負担金
- 三、公債費および予備費 一億三千七百四十九万円

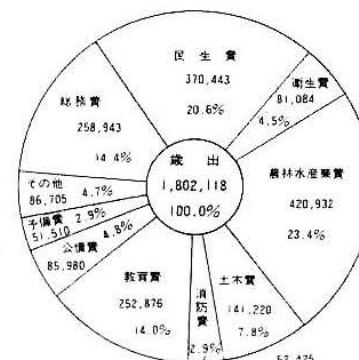
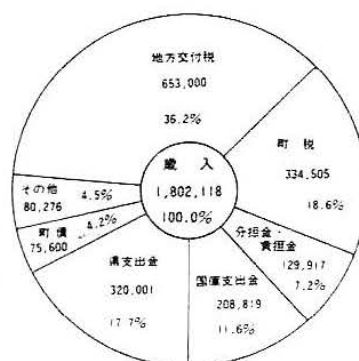
特別会計

国民健康保険特別会計については、診療報酬単価の改訂見込、医療費公費負担制度の普及徹底および高額療養費受診者の増大などに対応するため、一般会計からの大巾な繰入と保険税の引上げを見込みました。

企業会計

泊病院事業会計については、施設の効率的利用と医療機械の整備充実をはかり、地域住民の医療機関としての役割を果たしていきます。

昭和五十年 一般会計のなかみ



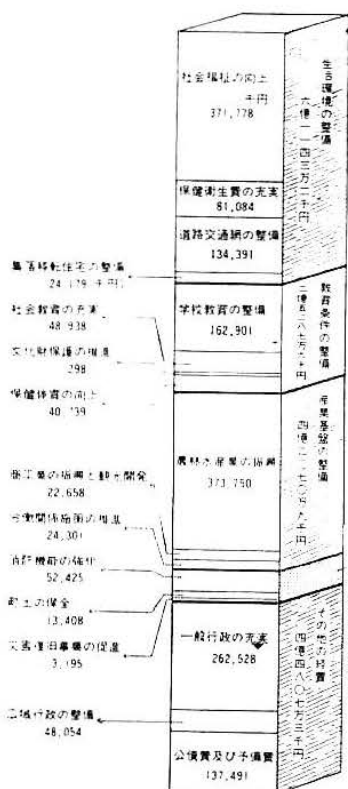
その他の内訳

項目	金額	割合
地方譲与税	9,000	0.5%
自動車取得税交付金	19,000	1.0%
交通安全対策交付金	864	0.1%
使用料・手数料	15,411	1.1%
財産収入	6,617	0.4%
寄附金	12,281	0.7%
雑収入	13,102	0.7%
計	80,276	4.5%

その他の内訳

項目	金額	割合
議会費	36,550	2.0%
労働費	24,301	1.3%
衛生費	22,658	1.2%
災害復旧費	3,195	0.2%
雑支出金	-	-
計	86,705	4.7%

政策別のなかみ



昭和50年度
予算案の説明

引続き

総需要抑制を基本に

特定財源の

最大限の活用により

四大施策を推進



町長 中川 雅一

高度成長経済から安定経済への移行に伴い、地方財政は年々従来のような規模の拡大を期待することができなくなるとともに、構造的にも硬直化の問題をかかえることになり、本年も引き続き総需要抑制策のもとで財政運営をしなければならぬ状況に立ちいたっております。

また、今後の経済の推移につきましても変動要素が多く適確な見通しは著しく困難な年であります。国県との関連ある特定財源を最大限に生かした政策を推進するとともに、極力経費の節減をはかりながら、社会福祉施策の充実などを優先にした方針を貫く考えであります。

この際、公約としてすすめてまいりました「生活環境の整備」、「教育条件の整備」、「産業基盤の整備」の三政策に、新しく「郷土の保全

は多言を要しません。

とくに近時、生涯教育という言葉がしめすように学校教育とともに広い意味での社会教育の要請もまた多岐にわたるものがあります。

学校につきましては、泊高等学校の新築移転等との関連もあり、泊小学校の改築および、かねての中学校統合計画を具体化すべき段階にはいつております。

これら一連の課題を長期的総合的な展望にたつてとりくむ所存であります。

また社会教育につきましては、公民館活動の充実を中心として各種学級講座の普及、社会教育諸団体への助成、スポーツの振興を通じての豊かな情操と強い体力の養成などに努力してまいります。

なお、わが町独自の文化財も多く、これらの調査保存にも配慮いたします。

1. 生活環境の整備

自治体の事務のもっとも重要な一つは、住みやすい町とは、町民の生活が平和、清潔、健康、安全、便利にして、若い世代が育てられ、めくまれぬ者が扶けられる状態をさすと考えます。

このためには、幼児から老人にまでいたる社会福祉の向上、保健衛生の充実、道路交通網の整備、危険あるいは不便な住居への対策などの施策を逐次実施してゆかねばなりません。

2. 教育条件の整備

百年の計は人をつくるにあり、といわれるように教育の重要なこと

3. 産業基盤の整備

きわめて困難な経済状況の中で、豊かな町づくりのため幅広い行政の推進が必要であります。特にわが町にあっては、山、海、野とそれぞれの地域の持味を生かした産業の振興が肝要であると考えます。

農業につきましては、限られた農地を高度に利用することが根本であります。

このため基盤整備事業、農業構造改善事業およびこれらに準ずる近代化事業の早期実施を期するとともに、進んで農村環境の整備をはかるため国庫資金の導入を今後の重要な目標といたします。

4. 郷土の保存

わが町は、豊かな自然にめぐまれていますが、ひとたび怒りを発するや山川となく海となく暴威を振うことは周知のとおりであります。

これに対処して治山、砂防、河川改修、海岸浸食対策を強力に進め、安んじて生活のできる郷土をつくりあげていく所存であります。

以上、四つの基本的施策を目指しておりますが、道は暗く険しい試練に立たされております。

新しい政策を追求しつつ、財源の重点的、かつ、効率的な配分と適切な管理によって、よりよき町政のため全力をつくしてまいりたいと存じます。

全国町村議会

議長会表彰の栄

上島 栄作

大橋 米太郎 三氏

長崎 仙松

二月七日全国町村議会議長会館において開かれた全国町村議会議長会定期総会の席上、朝日町議会議員上島栄作氏、前議員大橋米太郎氏と長崎仙松氏は、地方自治に貢献された功績により、それぞれ特別表彰並びに在職三十年以上及び十五年以上の自治功労表彰の栄に浴されました。なお特別表彰は、永年勤続議員でしかも地方自治に対してその功績が特に顕著な者に対して行われるものです。



長崎 仙松氏



大橋 米太郎氏



上島 栄作氏

昭和五十年第三回朝日町議会定例会（予算議会）

● あらまし

昭和五十年第三回朝日町議会定例会は三月十日から十九日まで会期十日間をもって開会されました。

本定例会では昭和五十年度朝日町一般会計予算（一、八〇二、一八千円）をはじめ条例の改正など、議案三十一件可決、選挙二件を決定いたしました。

請願陳情十一件については採択七件、継続審査四件の決定がされました。

審議日程

3月10日 本会議（会期の決定
町長提案理由の説明）

3月11日 本会議（議案説明）

3月12日 本会議（議案説明）

3月13日 本会議（質疑、一般質問）

3月14日 本会議（一般質問）

3月15日 文教厚生委員会（付託案件の審査）

3月16日 休会

3月17日 文教厚生委員会（付託案件の審査）

3月18日 総務委員会（付託案件の審査）

3月19日 本会議（委員長報告、質疑、討論、採決、日程の追加、議案一件審議可決）

可決されたもの

昭和五十年度朝日町一般会計予算
歳入歳出予算総額一、八〇二、一

一八千円。前年度予算額比三五七、三〇四円増

昭和五十年度朝日町国民健康保険特別会計予算

歳入歳出予算四〇六、四八一千円

前年度比二二、一六五円増

昭和五十年度朝日町国民健康保険診療施設笹川診療所特別会計予算

七、五三〇千円前年度比二、二六八千円増

昭和五十年度朝日町国民健康保険診療施設境診療所特別会計予算

一五、五七五千円前年度比五、二〇〇千円増

昭和五十年度朝日町簡易水道特別会計予算九百七十七千円

昭和五十年度朝日町南保外二地区用水特別会計予算二百十九万九千円

昭和五十年度朝日町泊外一地区用水特別会計予算二十六万一千円

昭和五十年度朝日町立泊病院事業会計予算九四九、六三〇千円前年度比二五〇、五四三千元増

朝日町議会の議員の報酬及び費用弁償支給条例一部改正の件

（従来町内一律であったものを三地区に区分した実費弁償額に改正したもの）

朝日町各種委員会委員等の報酬及び費用弁償支給条例一部改正の件

（各種委員等の報酬を増額するもの）

朝日町消防団条例一部改正の件

（消防団員等の報酬及び出場手当等を増額するもの）

朝日町職員定数条例一部改正の件

（職員の定数四二七名を四三一名に増員するもの）

朝日町手数料条例一部改正の件

（各種証明の手数料五〇円を一〇〇円に改め又原動機付自転車の登録番号標の再交付一件につき二〇〇円とするもの）

朝日町母子医療費の助成に関する条例制定の件

（母子家庭の未就学児童の医療費の一部を助成するもの）

災害弔慰金の支給及び災害援護資金の貸付けに関する条例一部改正の件

（弔慰金を支給する遺族の順位の改正及び災害弔慰金の支給額及び災害援護資金の貸付け限度額の引き上げが行われたため、これに見合うよう改正するもの）

朝日町町心身障害児童福祉金条例一部改正の件

（福祉金を増額するもの）

朝日町遺児福祉金条例一部改正の件

（福祉金を増額するもの）

朝日町身体障害者福祉金条例一部改正の件

（福祉金を増額するもの）

朝日町敬老福祉金条例一部改正の件

（福祉金を増額するもの）

朝日町火葬場使用料条例一部改正の件

（福祉金を増額するもの）

朝日町火葬場使用料条例一部改正の件

（福祉金を増額するもの）

朝日町火葬場使用料条例一部改正の件

（福祉金を増額するもの）

朝日町火葬場使用料条例一部改正の件

（福祉金を増額するもの）

朝日町火葬場使用料条例一部改正の件

（福祉金を増額するもの）

朝日町火葬場使用料条例一部改正の件

（福祉金を増額するもの）

部改正の件

（福祉金を増額するもの）

朝日町遺児福祉金条例一部改正の件

（福祉金を増額するもの）

朝日町身体障害者福祉金条例一部改正の件

（福祉金を増額するもの）

朝日町敬老福祉金条例一部改正の件

（福祉金を増額するもの）

朝日町火葬場使用料条例一部改正の件

（福祉金を増額するもの）

朝日町火葬場使用料条例一部改正の件

（福祉金を増額するもの）

朝日町火葬場使用料条例一部改正の件

（福祉金を増額するもの）

朝日町火葬場使用料条例一部改正の件

（福祉金を増額するもの）

朝日町火葬場使用料条例一部改正の件

（福祉金を増額するもの）

朝日町火葬場使用料条例一部改正の件

（福祉金を増額するもの）

朝日町火葬場使用料条例一部改正の件

（福祉金を増額するもの）

朝日町火葬場使用料条例一部改正の件

（福祉金を増額するもの）

朝日町火葬場使用料条例一部改正の件

（福祉金を増額するもの）

朝日町火葬場使用料条例一部改正の件

（福祉金を増額するもの）

朝日町火葬場使用料条例一部改正の件

（福祉金を増額するもの）

朝日町火葬場使用料条例一部改正の件

（福祉金を増額するもの）

朝日町火葬場使用料条例一部改正の件

（福祉金を増額するもの）

朝日町火葬場使用料条例一部改正の件

（福祉金を増額するもの）

朝日町火葬場使用料条例一部改正の件

（福祉金を増額するもの）

朝日町火葬場使用料条例一部改正の件

（福祉金を増額するもの）

朝日町火葬場使用料条例一部改正の件

るもの）

寄附採納の件

（小中学校保育所に対する寄附物品等を採納するもの）

朝日町固定資産評価審査委員会の委員を選任するため同意を求める件

（山崎二六の一小山秋次氏に同意するもの）

下山用水議員選挙の件

当選人 川瀬 茂（下野）

井口 幸作（大庄）

藤田 隆治（三枚橋）

稲垣清之助（横水）

高島 繁作（高橋）

住吉 啓二（下山新）

清水直次郎（金山）

吉田 隆徳（窪田）

由井 只一（舟川新）

高島 猛（桜町）

柳下 周作（平柳）

椿 文三（道下）

入善町外二町舟見中学校組合議会議員選挙の件

当選人 九里 留作（山崎）

永口 謙治（山崎）

酒井 栄（山崎新）

朝日町の職員に対する寒冷地手当の支給に関する条例一部改正の件

（手当を増額するもの）

採択になったもの

・消防自動車更新について（桜町町内会）

・生活改善推進費の予算化について（朝日町生活改善協議会）

・農道の拡巾及び町道新設について（平柳町内会）

請願陳情

・農道の拡巾及び町道新設について（平柳町内会）

・赤川地区中央河川の改修について
(赤川地区)

・第十八回朝日町社会福祉大会決議事項の実現について
(朝日町社会福祉協議会)

・老人福祉の増進について
(朝日町老人クラブ連合会)

・消防自動車の配備について
(第六分団副分団長)

継続審査になったもの

・町道東草野海岸線延長の早期実現について
(清水町町内会)

・宮本町流雪溝設置について
(宮本町町内会)

・橋向町流雪溝設置について
(橋向町町内会)

・漁業近代化資金借入に伴う利子補給について
(宮崎浦漁業協同組合)

常任委員報告

三月定例会における各常任委員会は三月十五日から開かれ、付託された各案件について慎重に審査した結果いずれも原案どおり可決されたもの各常任委員長より報告され、次のことが要望されました。

総務委員会

審査の過程において、財政硬直化の時代を強く認識し、町長はじめ管理職は人事管理の是正をはかり職員と共にえりを正し一丸となって町政運営の効率化に前進され住民サービスの向上に一段と励まれるよう強く要望する。

文教厚生委員会

産業建設委員会
(両委員会とも付託議案の審議結果報告のみで、要望意見は報告されず。)

陳謝

石橋芳和議員が先般発行された町政報告書の中に表現のまずさがあり、今後充分配慮し是正してゆきたいと陳謝がありました。

一般質問の中から

年四回(三、六、九、十二月)に開かれる定例町議会では、町政全般について質問がですがこれを一般質問と言います。

三月定例会は昭和五十年度の予算議会であり、各議員から多彩な質問がありました。

その質問の一部を紹介します。

泊高等学校跡地利用と統合中学校の建築について

問 泊高等学校の新築により生徒移転後の現校舎の用途について考えているか。

又統合中学校の建築は何年ころから着手するのか。

答 泊高等学校の跡地利用の問題と統合中学校建築との二つの問題を一緒にした形の中でお答えする。

泊高等学校の跡地利用については昭和五十二年に校舎改造し暫定的に泊小学校にしたい。

なお、統合中学校については、昭和五十年度にはグラウンドを昭和五

十一年度～五十二年には町民総合体育館そして五十三年に校舎の建築に着手し財政措置をいれて五十六年度までかかる計算になるので、この間に統合の実現を期したい。

建物そのものは昭和五十三年度～五十四年度で完成し順調にゆけば五十五年度から統合中学校で授業を始めたとい計画している。

さらに役場庁舎については昭和五十五年度泊中学校を改装し移転したいと想定している。

泊病院の満床対策について

問 最近泊病院は大変繁忙して満床のため入院を必要とする患者もなかなか入院できず、大変困っている方々が多いが町長はこれが町民医療対策をどのように考えているか。

答 ご指摘のとおり大変満床状態で町民に不便をかけており申し訳ないと思っています。

病院長をはじめとし病院内部においても、以前から問題とし工夫をこらしているのであるが速効的対策のないのが現状である。

増築ということとはとても財政的に無理がかかるということと他の制度を利用して機会があれば対処して行く考えであり今後とも一生懸命努力して参りたいのでなにとぞご理解をいただきたい。

なお病院長も、救急で非常にお困りの方はお断りすることのないよう努力している旨申し上げておりこの点よろしくご理解を賜わりたい。

町中央農協スーパーマーケットの建設について

問 朝日町中央農協は駅前通りに五階建ての大型店舗を建設し組合長の話によれば年間三億円の売上げにしたいということであるが町の零細商店街へこのような大型店舗を建設することは地元商店街に大きな打撃をあたえることは必至である。

町長はこの農協スーパーをどのように規制するか具体策を伺いたい。

答 町中央農協が考えているマーケットに対し規制するかという質問のようであるが、いまの状態では規制することを考えていない。

商業の方々の立場からいたしましても、また県の商工診断の結果によっても、一地区に客を留めそこで長い時間をすごせる居心地の良い商店街を作ってゆかなければならないというものであり、よい競争条件と経営の合理化ということで商業を営んでおられる方々を非常に圧迫するという見方は必ずしも当たらないと私は理解している。ましてや計画の中には十戸程の貸店舗も入れるということであり、これは地元の方達とタイアップによるものと思う。

また中央農協対地元商業といった理解をする他に朝日町対朝日町以外の視点をとらえ町外消費者による町内消費を高めるといことも今後考えてゆくべきであり、利子補給による保護政策のみでなく、経営の合理化も真剣にやっていたら面もあつてしかるべきと思う。

「新川広域圏事業」火葬場の建設について

町営工事入札状況

最近入札された百万円以上の工事

一、町道、道下沼保線改良工事

工事費 二、一〇〇〇千円

工期 二月二十四～三月三十日

延長 五二・八米

巾 四・五米

(写真は沼保道下線改良工事)



町を花と緑に

ことしも人気を集めた

■ 苗木即売会 ■

町民一人一人が豊かでうるおいのある環境づくりをめざし、ことしも朝日町緑化推進委員会、東部林業協会、花と緑の銀行などの共催により四月五日朝日町福祉センター広場で開催されました。苗木即売会は年々生活の中に花と緑づくりが定着し、環境の浄化をのぞむ町民の皆さんの人気を呼び、花木、盆栽、庭樹園、果樹等をたくさん求められ早くも売切れの盛況でした。

大きく育って、野も山も庭も緑化されることを期待しています。



標準小作料が

かわりました

昭和46年10月に設定された標準小

作料がこのほど改定されました。

この標準小作料は昭和45年10月1日以降に契約された小作地に適用されるものであり、それ以前に契約されていた小作地については、従来の統制された小作料が続けられます。今後新たに賃貸借の契約をされるかたは、標準小作料を参考に契約されるようお願いいたします。

▽標準小作料の額は

十アールあたりの米の収量により段階別に定めてあります。一筆単位ごとの等級区分により定めたものではなく、小作料をきめる際の標準的な額です。

標準小作料の額は下表のとおりです。今回の標準小作料は50年度より適用されます。

農地の区分	小作料の標準額	備考
田の部	23,000円	10アール当り 520kg
	19,500	〃 490
	17,500	〃 470
	13,500	〃 450
	7,500	〃 420

農作業賃金 協定額がきまりました

農業委員会

朝日町農業委員会では町内の農業関係団体と協議をし、今年の農作業賃金と農用機械の標準賃金(料金)を次のとおり決めましたのでご協力をお願いいたします。

1. 作業別一日当り標準賃金

田植 稲刈作業とも

男 三、五〇〇円 女 二、八〇〇円

2. 農用機械の一〇アール(一反歩)

(一) 当り標準料金

耕耘機 一回入り 六、五〇〇円
二回入り 七、七〇〇円
三回入り 八、五〇〇円
トラクター三回入り 八、五〇〇円
田植機(補助員は別) 三、五〇〇円
バインダー(刈取機) 六、〇〇〇円
自脱コンバイン(〃) 九、五〇〇円
防除作業(ホース撒布) 三、五〇〇円
粗乾燥調整(玄米一袋) 一、〇〇〇円
稚苗料金 一箱当り

成 苗 うるち 四七〇円

も ち 四九〇円

発芽苗 うるち 三五〇円

も ち 三七〇円

◆ 賄はできるだけ簡素にして各作業男女とも三五〇円程度とする。

◆ 耕耘機賃料及びコンバインは、耕地の条件などにより本協定額より二割以内の増減ができる。

3. 作業時間

午前七時から午後五時まで。休憩時間は午前、午後ともにそれぞれ三十分とする。



大きくなつて

帰つてこいよ

サケの稚魚放流

● 朝日町内水面
● 漁業協同組合 ●

朝日町内水面漁業協同組合サケ・マス部会では、魚タンパク質の確保増殖のため、親サケを採捕し人工ふ化放流事業をおこなっています。昨年秋採捕採卵したものが六、七センチの稚魚に成長したので三月十五日に小川、境川、笹川に放流されました。サケは生れた河川に帰ってくる回帰性があり、四年後には大きな親サケとなつて帰ってくることを期待されます。



(写真はサケの稚魚を放流する組合員たち)

昭和四十九年度

富山県米作改良選賞表彰の栄

昭和四十九年度富山県「米作改良」選賞受賞式が、さる三月二十五日午前十時から富山県庁四階大ホールにおいて開かれ昭和四十九年度産米において、米作改良に努力され特に穂肥、実肥の重点施用によって、稔実の向上に努めるな

◎米作改良優良生産者

吉江輝寛氏(草野)

品種別作付と産米出荷状況

越路早生 二、〇ヘクタール

出荷量一七〇俵(一等二俵)

◎コシヒカリ栽培優良生産者

金森 茂氏(下山新)

品種別作付面積と産米出荷状況

コシヒカリ 一、一ヘクタール

一〇四俵(二等)

ホウネン早生〇、六ヘクタール

五五俵(二等)

日本晴 〇、五七ヘクタール

四六俵(二等)



金森 茂氏



吉江 輝寛氏

国民年金

ゆとりある 未来のために

保険料のかけ忘れを
なくしましょう

◆保険料を納め忘れると

国民年金のいづれな年金は、保険料をキチンと納めていないと受けられないことがあります。せっかく国民年金に加入しているが、わすかの期間のかけ金を納め忘れていたばかりに、当然もらえらる年金がもらえなかったり、年金が少くなったりでは大変です。今一度たしかめて下さい。

◆納める方法

先に配付してあります納付書により、近くの銀行か農協で納めて下さい。
◇グリーンとふやせる年金にぜひ加入しましょう。

奨学生募集

●加藤奨学金●

朝日町では加藤奨学金の奨学生を募集受付中です。希望者は教育委員会に申し込んでください。
・奨学生の要件 町内居住者の子弟で四年制以上の大学に在学する健康で成績優秀な学生の学資援助
・奨学金 月額五千円 二人
・願出系統 奨学生願書、奨学生推せん調書
希望される方は、朝日町教育委員会に問い合わせご相談ください。返済の必要なし。

朝日町では、今月から婦人会と共に、グンとふやせる年金(附加年金)の加入推進運動を行っています。定額保険料一ヶ月一、一〇〇円のほかに四〇〇円のかけ金を上積みしますと、将来うける年金がグンとふえます。

年金の相談は
住民課年金窓口へ
* わからないことや、疑問のある方。
* 納付書をなくした方。
* 会社等に勤めたり、やめたりした方。
* かけ金を納めることが困難な方。
* 年金をうけたい方(満60才以上)

事業所

統計調査のおねがい

本年五月十五日現在で事業所統計調査(総理府統計局所管、三年に一回)が実施されます。

この調査は全国の事業所を調査対象とするもので朝日町では次の方々が調査員です。調査の際にはご協力をお願いいたします。

松倉 富五	泊	木村 幸夫	泊	水野 昭美子	泊	安達 弥生	泊	間部 和美	泊	島端 恵津子	泊	岡本 京子	泊	仙名 京子	泊	数家 善継	泊	小川 雅幸	泊	池田 耕造	泊	谷口 宗次	泊	稲荷 優	泊	竹内 寿実	泊	岩谷 治恵	泊	野田 道明	泊
-------	---	-------	---	--------	---	-------	---	-------	---	--------	---	-------	---	-------	---	-------	---	-------	---	-------	---	-------	---	------	---	-------	---	-------	---	-------	---

年々歳々花同じく
人同じからず

二万町民の行政と 義務教育をあずかる 朝日町役場職員と 教職員人事異動

新 旧		氏 名		技 師		建設課		母子寮	
総務課	主任	野田 潔	主事	建設課	本 田 正 一	泊 母 子 寮	大 家 庄 保 育 母	土 居 清 江	
主事	泊 病 院	武 田 久 子	技 師	新 採	大 井 幸 司	泊 母 子 寮	大 家 庄 保 育 母	森 井 敏 子	
主事	税 務 課	谷 口 昌 旦	主事	教育委員会事務局	岡 本 輝 夫	山 崎 小 学 校	調 理 師	古 沢 清 松	
主事	住 民 課	堀 地 悠 紀 子	主事	社会教育係	主 事	山 崎 小 学 校	助 手	中 島 は つ ゑ	
技 師	福 祉 セ ン タ ー	藤 田 隆 義	主 事	泊 病 院	竹 内 優 峰	南 保 小 学 校	助 手	山 崎 幸 枝	
企 画 財 政 課	住 民 課	金 井 恵 子	局 長	福 祉 セ ン タ ー 館 長	小 坂 謙 二	泊 中 学 校	調 理 師	勝 田 節 子	
主 事	税 務 課		局 長	保 育 所		宮 崎 小 学 校	助 手	丸 岡 洋 子	
主 事	教育委員会	柳 下 善 一	局 長	保 育 所		宮 崎 小 学 校	助 手	上 村 ス ズ エ	
主 事	総 務 課		局 長	保 育 所		小 川 中 学 校	調 理 師	水 島 真 理 子	
主 事	住 民 課	長 原 忠	局 長	保 育 所		泊 中 学 校	調 理 師	波 間 と き 子	
主 事	住 民 課	兵 庫 俊 春	局 長	保 育 所		泊 中 学 校	調 理 師	島 端 武 雄	
主 事	住 民 課	黒 坂 道 子	局 長	保 育 所		泊 中 学 校	調 理 師	神 谷 知 明	
主 事	住 民 課	堀 川 義 明	局 長	保 育 所		泊 中 学 校	調 理 師	勝 田 香 代 子	
主 事	住 民 課	大 島 清 計	局 長	保 育 所		泊 中 学 校	調 理 師	山 崎 秀 行	
主 事	住 民 課	永 口 義 時	局 長	保 育 所		泊 中 学 校	調 理 師		

体協だより

いろいろな
スポーツ行事
のお知らせ

三月二十三日(日) 泊中体育館で
行われたバレー、バスケット両大会
の成績はつぎのとおりです。

▽第二十回町民バレーボール大会

男子 ①大家庄 ②五箇庄

女子 ①泊二区 ②泊三区

▽第十四回町民バスケットボール大

男子 ①五箇庄 ②泊二区

女子 ①泊二区 ②泊三区

第四回朝間野球大会参加チーム募集

今年も野球協会、審判協会を中心
に朝間野球大会が開催されます。こ
の大会は第二回の下新川郡朝間野球
を兼ねており、この大会の優勝チー
ムが県大会の出場権を得られます。
なお期日、場所等詳細については
教育委員会または大和運動具店へ問
い合わせ下さい。

Young わかもの

朝日町連青

本年度
事業計画と
役員ぎまる

朝日町連合青年団では三月二日福
祉センターにおいて第二十二回定期
大会を開き、五十年役員を選出し
活動方針、事業計画を決めた。

活動方針

今年度は、「青年の生活を高める
」という基本目的の達成のため次の
四つの活動目標を定め行動する。

一、魅力ある青年団活動を展開し
仲間の輪を広げよう。

一、地域に根ざした青年団活動を
展開しよう。

一、情宣活動を充実し広範囲に展
開しよう。

一、女子活動を育成し強化しよ
う。

事業

四月 交通安全街頭運動

女子青年のつどい

五月 美化奉仕活動

六月 青年体育祭

八月 青年議会組織議会

十月 青年議会本会議

十一月 ダンスパーティー

十二月 青年祭

一月 ダンスパーティー

二月 青年問題研究集会

三月 定期大会

※「青年朝日」年六回発行

「青樹」年一回(三月)発行

役員

団 長 中野 義博(山)

副団 長 長井 栄(笹川)

〃 永口 明広(山)

〃 西岡 節子(泊)

事務局長 越間利志雄(南)

常任理事

沢井一男(大)

河村 章(五)

米田吉彦(泊)

折谷行栄(笹)

監 事

西岡良則(泊)

米丘三明(南)

主 事

理 科 医 生

看 護 婦 女

看 護 婦 女

看 護 婦 女

調 理 師

調 理 師

助 手

助 手

消 防 署

消 防 署

消 防 署

消 防 署

消 防 署

消 防 署

消 防 署

消 防 署

消 防 署

消 防 署

消 防 署

消 防 署

消 防 署

消 防 署

消 防 署

消 防 署

消 防 署

消 防 署

消 防 署

消 防 署

消 防 署

消 防 署

消 防 署

消 防 署

消 防 署

消 防 署

消 防 署

消 防 署

消 防 署

消 防 署

吉田 進

大島 寛治

上沢ひとみ

住吉祐子

青木 明美

小林 悠子

尾崎まさ子

西田富美子

長井ふじ子

波間キヌ子

寺田 隆

佐渡与志雄

水島 滋寛

末上 保

末上 幸明

石井 雅博

野村久四

大久保すみ

長津花子

道下トヨ

波間ハツエ

伊藤八重子

金三津慶子

渡辺真沙美

山崎 隆一

伊藤八重子

金三津慶子

渡辺真沙美

山崎 隆一

伊藤八重子

金三津慶子

渡辺真沙美

山崎 隆一

伊藤八重子

金三津慶子

渡辺真沙美

山崎 隆一

伊藤八重子

金三津慶子

山口秀広

草野富久子

水島 徳寿

湯口 康雄

松原 英子

水島ひろえ

川端きみ子

宮本 義人

草野 三郎

蓬沢 豊二

長崎 光雄

柳沢 珠子

高島久美子

牧野 織衣

中村 慶一

菊地 信夫

山手 勝憲

扇谷 栄美

永井 文子

古草 俊雄

平崎 景子

扇谷 光夫

滝本 進

加藤 泰子

漆間 元三

竹内 俊一

吉本 敏子

越前 久松

松原 義昌

坂東 正康

小堀とも江

愛場 啓治

加藤 八郎

居波 由松

杉田 正範

利賀 小長

宮崎 小頭

笹川 小長

新屋小頭 境小頭 長谷川時敏

魚東中教 小川中教 大村利男

泊 小 長 大田 弘

南保小 頭 米丘正雄

宮崎小 長 水島善宝

境 小 長 金森喜一

泊 中 長 福沢正典

泊 中 長 上村益治

五箇庄小 教 土居み可

相談ごと案内

▽行政相談

日時 毎月第一火曜日

場所 午前十時～午後三時

場所 朝日町福祉センター

▽人権法律相談

日時 四月二十二日

場所 午前十時～午後三時

場所 朝日町福祉センター

▽心配ごと相談

日時 毎週火曜日

場所 午前十時～午後三時

場所 朝日町福祉センター

TEL三一〇五七六

交通事故巡回相談

①日時 第一、第三月曜日

場所 午前十時～午後三時

場所 黒部市役所

②日時 第一、第三水曜日

場所 午前十時～午後三時

場所 魚津 県総合庁舎

朝日町青年団

青年学級

リーダー学習会

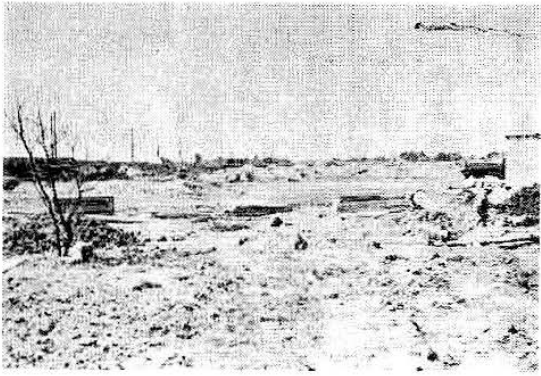
昭和四十九年度朝日町青年団、青年学級リーダー学習会が三月二十二日・二十三日に小川温泉元湯を会場に行われました。

内容は県青年の船、洋上セミナーなど国外研修者の報告をはじめとして、青年団、青年学級のあり方、運営の方法等の討論会など研修生は熱気の中で真剣に取り組んでいました。

草野地内

分譲宅地造成はじまる

—朝日町開発公社—



かねてから朝日町では雇用促進住宅誘致のため、開発公社の手による、都市計画路線東草野大家庄線、国

鉄ガード西側地内の約一万六千五百平方メートルの土地買収を進めていたが、このほど約一万平方メートル余の買収が終り、事業費二千三百六十万円でこの整地と、一区画二百六十四・三百三十平方メートルの宅地三十戸及び附帯舗装道路(巾六メートル)と緑地造成工事が始められた。(写真は宅地造成の行われている草野地内)

裁判所だより

少年非行の集団化

(こどもの遊び仲間)
注意しよう

家庭裁判所における最近の統計によれば、交通事故を除いた少年事件のうち、二人以上協同して非行を犯した、いわゆる共犯少年の占める割合(共犯率)は五二・一%とかなり高い率を示しています。これを罪種別に見ますと、恐喝では八〇・三%と最も高く、次いで婦女暴行、強盗、傷害の順となっており、暴力を伴う非行の共犯率が特に高いことが注目されます。また年齢層別の共犯率を見ますと、一八・九才の年長少年は四九・二%、一六・七才の中間少年は六〇・八%、一四・五才の年少少年は六〇・七%となっており、年齢層が低くなるにつれて、集団で非行を犯す場合が多くなっています。もともと、これらの集団非行は、遊びから発展しているものが少なくなく、スリルを求める気持やスポー

ツ的な興味から出ていることがうかがわれます。これら少年達の結び付きを見ますとボーリング場や喫茶店に出入りしている内に仲間となるのが四・六%、家が近くであるとか幼なじみであるなどから結び付いているのが二七・七%、学校関係からと云うのが五一・四%となっており学校での遊び仲間という関係が約半数を占めています。

少年達をこのような集団非行から守り、健全な育成を図るためには、特に、親や先生が少年期特有の心情を理解し、少年達の成長していく可能性を十分伸ばすよう配慮すること、が何よりも必要であると思います。

みんなの図書館



※新着図書のアんない

働き盛りの健康法 杉靖三郎
メイコとガマ先生のすぐ効く
家庭療法 中村メイコ外
動物たちの生命力 田中清香
セックス常識のウソ 高橋浩一郎訳
動物たちの行動から何を学ぶか 石垣純二

土井勝お料理一〇番 藤原英司
元禄大平記(前編) 土井 勝
燃える軌道(一、二) 南条範夫
晩秋 山岡莊八
櫛の火 丹羽文雄
秘本三國志(一) 古井由吉
事故 陳 舜臣
松本清張

よい本の紹介 日本写真年鑑

写真で見る

一九七四年

おせいさんの落語 田辺聖子
疑惑 竹内勇太郎
伊勢物語OL殺人 斎藤 栄
抱擁 瀬戸内晴美
寝業師 梶山季之
がんにがらめ(一) 花登 筐

一九七四年は日本を含め、世界が揺れに揺れた一年であります。

七三年十月第四次中東戦争は一ヶ月余で収拾されたもののそれが引金となつて、先進国側の資本主義経済の矛盾が七四年に入つて一気に噴出した形となり、世界はまさに激動と大動乱の時代を迎えました。こうした情勢の中で日、米、英、仏、西独、伊で相つぐ政権交代がありそれぞれ有力の政治家よりも協調性のある政治家を求めました。

しかし石油危機に端を発した自由経済諸国は様にインフレ高物価と不況が相乗するばかりで先行き不安の状態が暮れました。日本写真年鑑は一九七四年の出来事を一目で見ることが出来るニュース写真です。三月フイリッピン島のルバング島で小野田寛郎元少尉が救出され三〇年ぶりに祖国の土を踏みました。また十二月インドネシアのモロタイ島で台湾出身の元日本兵中村輝夫さん救出などのニュース写真ものっています。一枚の報道写真は何百何千の文字より最も雄弁で印象の強いものです。どうかお気軽に図書館に来て閲覧して下さい。

郵便局だより

転居届は 必ず郵便局へ

これから就職、転勤シーズンを迎える転居がふえてきます。

転居の際は、必ず転居届を旧住所の配達を受け持つ郵便局へお出しください。

『旧住所の戸口に転居先をハッキリ書いて貼り出しておいたのに郵便物を戻された』というお叱言を耳にしますが、郵便局では転居届の出しであるものに限って、一年間だけ新しい住所へ郵便物を転送することになっています。

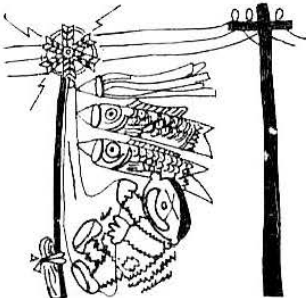
転居届用紙は、全国の郵便局の窓口や、市町村役場にもあります。お知り合いの方に出される転居通知をそのまま郵便局へ出されても結構です。

北電だより

これからは鯉のぼりや風あげの季節です。

鯉のぼりは電線から十分離れたところに立てましょう。

風が吹いたりして鯉のぼりが電線にふれ、感電のおそれがあります。



消防署だより

郷土の美しい 緑の山林を 山火事から 守ろう

ことしもまた、山火事の危険シーズンに入りました。年間を通じて山火事の最も多く発生するのが、三月ごろから五月ごろにかけて多く、年間発生件数のうち約六〇%はこの時期に集中しています。

この期間は雨があまり降らず、このため空気が乾燥し、下草なども枯れているので、山火事が発生しやすい条件にあるからです。

山火事はなぜ起きるか。原因別のトップはタバコの火の不始末、次はたき火などによるもの。この二つが圧倒的に多く、いずれも不注意による失火のひとつにつきまします。とくにタバコの火の不始末は建物火災なども含め、出火原因の王者といわれているだけに、くれぐれも注意すること。これ以外に適当な予防法はありません。

近年森林の憩いの場を求める傾向が強まり、ハイカー等の入山者の増加に伴い、本県における昨年一年間の山林原野火災は五〇件で、昭和四七年以来増加の傾向にあります。

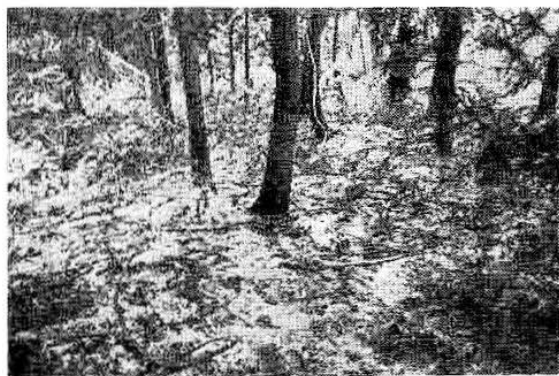
山火事予防重点事項

- (一) たき火の跡始末を完全にすること
- (二) タバコの吸殻は必ず消すこと
- (三) 火入れの許可は必ずとること
- (四) 林内での子供の火遊びに注意すること

クまた来ると山に誓って

火の始末ク

(写真は山林内の火事のあと)



広報編集委員長辞任に当って 九里道守

朝日町誕生以来、広報あさひの創刊とともに今日まで、いつしか二十年たちました。

朝日町が誕生直後、公民館報に代るべき町の広報発刊の話が出て当時の町長金森吟氏に進言し、その要望が容れられて広報「あさひ」の誕生を見るに至りました。

発足当時は、教育委員会に編集部をおき、私が推されて委員長に就任しました。

編集に当って最も苦心したことは全町民に親しまれる広報でなければならないということで、表紙に興味ある談話をのせることによって住民の心をとらえるという配慮で、課題写真と記事に、いろいろ苦労したものです。

今や広報は朝日町の全家庭のみならず、全国各地に活躍されている郷土出身の方々にもこれを送り、町との連絡を保つ一つのかけ橋としての役割も果たしており、大変感謝されております。

今日の広報あさひは、編集、体裁、印刷の面でもまさに画期的な発展をとげており、町民の中には創刊以来一部も欠かさず保存しておられる方も何人かおられ、町の過去を展望するにこよなき資料として、正に町の歴史が『あさひ』によって記録されていると言えます。

私はこの二十年の長期間にわたって、広報あさひのため今日まで微力を尽して来ましたが、一昨年来、視力が極度に減退し、これ以上重要な広報編集陣に止まることは不適であると思っておりますのでこのたび辞任することにいたしました。

長年のご協力を感謝しますと同時に、後任の方々の活躍により、さらによりよい広報あさひの発展を期待して辞任の挨拶に代えます。

朝日町二十年のうつりかわりの 特集を終えて

町政二十周年記念事業とタイアップして、町広報「あさひ」も昭和四十九年度は、「朝日町二十年のうつりかわり」を表題に掲げ、変貌する朝日町の姿を紹介してきましたが、記念事業にふさわしい特集シリーズとして好評が寄せられました。

まだまだ多くの未紹介地域や場所もありますが、古い写真のないことなどで思うように紹介できなかったのが心残りでした。

町広報「あさひ」は県下でも文化的香り高い異色の広報紙として県当局や識者の強い関心を集めておりますが、編集委員会ではその特色を保

持すべく、本年も引続いて特集シリーズとして古くからの朝日町に伝承残存する習慣、祭礼、芸能など「朝日町風土記」と題して紹介することになりました。

古い時代から庶民たちが伝承してきた心の祈りとも言えるべき、生活習慣や、芸能など、社会情勢激変の荒波をひっそりと避けて細々と受けつがれているものをここに紹介し、「あこな」なところに、こんなことが」と関心の目を向けていただくことが目的で、未来への伝承はその価値判断と共に住民によって自然発生的に考えられることでありましょう。

国鉄だより

三月十日からの時刻改正で北陸線国鉄ダイヤは次のように便利になりました。御利用をお待ちしております。

1. 大阪行きの特急、急行は越後、きたぐに等一部を除いて米原を通過せず湖西線を通り、十五分前後のスピードアップと運賃が百円安くなりました。このため新幹線米原接続のため特急加越が富山から新設されました。
2. 富山からの特急雷鳥、加越、しらさぎが「エル特急」(自由席三両連結)になっています。(四月二十六日～五月六日の間は全車指定)
3. 金沢、上野間に寝台特急、北陸が一往復新設となり、従来の北陸2号は能登に変更になり、自由席車三両指定席車二両、グリーン車一両、B寝台車五両A寝台車一両連結されております。
4. 季節列車上り立山1号(泊発8時19分)、下り立山3号は(泊発6時44分)六月三十日まで毎日運転しております。
5. 富山～糸魚川間に快速一往復増発になりました。泊駅の発車時刻は上り21時11分(金沢行)、下り19時3分(福井～糸魚川間)です。

善意の預託

朝日町善意銀行

社会福祉の増進のため、次のかたがたから、貴重な善意の預託がありました。

ここに厚くお礼を申しあげます。

壹千貳百拾五円也

泊高等学校生徒会殿

泊高等学校生徒会のみなさんが、

恵まれない人達のために役立てたいと温い気持を持ち寄って、代表

の中島繁君が持参されたもの。

貳千円也

宇奈月町 奥田利秋殿

講師謝礼の分を社会福祉の増進に

と預託されたもの

貳万円也

桜町 南茂健太郎殿

なくなられた御母堂せきさんの供

養のため老人福祉の増進に役立て

て下さいと持参されたもの

参万円也

東下町 玉木俊夫殿

なくなられた御母堂綾子さんの供

養のため老人福祉の増進に役立て

たいと持参されたもの

五百円

前川孝子殿

拾得金を社会福祉のために

五万円也

荒川五丁目 上野 孝殿

なくなられた御母堂ときさんの供

養のため社会福祉の増進に役立て

下さいと持参されたもの

白米 六斗

山崎 九里 舍義殿

恵まれない人達のために役立てて

下さいと持参されたもの

学校への寄贈

大家庄小学校へ

大家庄小学校後援会から

暗幕一組 映写幕一 書架一

共同機一 プール日よけ一

職員研修図書十冊

大家庄小学校育成会から

児童図書二十一冊 書架一

陸、海、空

自衛官を募集します

あなたの未来は大きく開けています。

技術(資格)は身をたすけ、

将来が約束されます。

各種車両免許

車両、航空機整備

通信、会計、測量

その他職種に応じて多くの国

家資格免許があります。

資格

満十八才〜二十五才未満の

男子

待遇

衣、食、住無料支給

初任給 五万八千二〇〇円

賞与 年三回支給

勤務地

陸、海、空によって違いま

すが全国各地

受付相談は

朝日町役場総務課へ

自衛隊富山地方連絡部

TEL四一三三七一

いつでも気軽にお願いください

大家庄小学校昭和四十九年度卒業

生から、キャンブ用テント一張

道下 由井一男氏から遊具塗装

・宮崎小学校へ

稚内市 波間三郎兵衛氏から児童

用図書一式

・境小学校へ

大平 根建正昭氏から砂場砂一台

花だんブロック一〇〇個

・町立小、中学校全校へ

日東紡績株式会社泊工場(代表田

尻文一氏)より教材用容器二七

九個

・泊中学校へ

泊中学校後援会から

体育館暗幕一組 教室カーテン

一組 トランペット一 コルネ

ット一 フルートカレッジモデ

ル一

泊中学校昭和四十九年度卒業生から

電波時計一基 テント一張

おめでたと おめでとう

(昭和五十年三月十五日現在)

誕生 (おすこやかに)

○境 水島義則 長男 裕一

○宮崎 扇谷俊成 長女 真理子

○笹川 竹内善光 長女 由香里

○尾 藤沢俊彦 長男 俊之

○横尾 萩原盛一 長男 健

○泊 長井昭夫 二男 英昭

○泊 岡 洋一 長男 正家

○泊 松田 理二 女 千恵子

○泊 中村安正 長女 由紀子

結婚 (おしあわせに)

○平柳 若林茂男

○滑川市 高橋和子

○荒川 赤川宗一

○滑川市 小川法子

○山下 道用 勇

○山崎 山本政子

○山下 寺田登美子

○道下 寺田清

○宮崎 加藤好進

○能生町 中村睦枝

○東草野 犬田隆

○南保 道用 松子

○舟川新 岡田和夫

○入善町 青木延子

○荒川 伊藤友文

○愛媛県 宮本福美

○長野 中島清安

○殿町 中島好子

○大家庄 杉本久夫

○東草野 水島利志子

逝去

(おくやみ申し
あげます)

○境 室 新田 さい(81)

○宮崎 前川 岩雄(59)

○横尾 谷 信良(66)

○泊 玉木 綾子(80)

○泊 田中 源二(54)

○西町 真岩 京子(36)

○道下 大平 清吉(71)

○道下 入江 高平(26)

○荒川 大平 茂(48)

○柳 藤田 ついで(74)

○草野 篠田 はな(78)

○赤川 金井 ちよ(91)

○南保 大森 政治(74)

編集兼発行 朝日町役場
印刷所 朝日町印刷
送料 十二円
定価 六円
郵便番号 九三九一〇七

3月の町内交通事故数

月	件数	死者	負傷者
1月~2月	6	0	9
3月	0	0	0
本年累計	6	0	9